

## 14. 多摩・島しょ地域における医療の充実

- 高齢化の進展や医療資源が区部に比べて少ないという多摩・島しょ地域の課題を踏まえ、誰もが必要な医療を受けられる体制を整備

### 多摩地域全体の医療水準の向上

- ◆ 多摩メディカル・キャンパスを再構築し、多摩地域における医療の充実に貢献
  - 神経病院の改築を軸にキャンパスを再構築
  - 各病院の強みを一層発揮するとともに、相互連携の強化により集積メリットを高め、キャンパス総体としての医療機能を強化

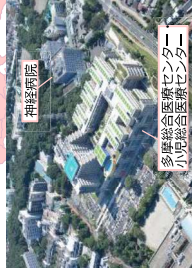
多摩メディカル・キャンパス  
多摩総合医療センター・小児総合医療センター・神経病院を中心とした、多摩地域の医療拠点

#### 多摩総合医療センター

- 救急医療等を充実強化
- 東京都がん検診センターの機能を統合し、「外来がん検診・治療センター（仮称）」を新設。精密検査による早期発見・早期治療を提供できるがん医療提供体制を強化

#### 各病院の強みの発揮・相互連携の強化

- 難病医療センター（見込み）  
（狛神経病院）
  - 難病医療を集約の上、強化
  - ほぼ全ての脳・神経系及び免疫系の難病患者に対して高度で包括的な医療を提供
- 小児総合医療センター  
  - 重症患者の受入機能を強化
  - 小児がん拠点病院として高度で包括的ながん医療を提供



### 多摩地域の医療水準向上に寄与

- ◆ 多摩北部医療センターを改築し、北多摩北部地域の医療提供体制を強化

### 島しょ地域で専門医療を受けられる体制の整備

遠隔医療の実施や看護職員の定着支援等により、島しょ地域においても必要な医療を受けられる環境を整備

- 本土・島しょ間で5G通信を用い、高精細な映像や検査画像等を送受信し、島しょ医療の基幹病院である広尾病院を中心とした都立病院の専門医が、島しょ医療機関の医師に對して助言
- 島しょの医療・介護等関係者と都立病院でWeb会議を実施し、患者の療養情報を円滑に共有

5G



### 島しょ医療の更なる充実

実証結果を踏まえて運用

島しょ地域における、5Gを活用した遠隔医療の実証実験

## 3か年のアクションプラン（主要）

具体的な取組	年次計画		
	2020年度末（見込み）	2021年度	2022年度
多摩メディカル・キャンパスの整備	整備手法の検討等	設計等	2023年度 整備工事等
5Gを活用した遠隔医療	導入調査の実施	八丈島で実証実験	2023年度 実証結果を踏まえて運用

## 2030年への展開

- 外来がん検査・治療センター（仮称）を開設【2025年度頃】
- 難病医療センター（仮称）を開設【2029年度】
- 島しょ地域において遠隔診療を実施【2030年】